キルギス・日本外交関係樹立25周年記念

КЫРГЫЗ КӨЧМӨН ДҮЙНӨСҮ

遊牧民の魂

～中央アジア・キルギスの音楽とファッション、伝統と現在～

Dive into the Nomadic Culture of the Kyrgyz People

オルド サフナ来日公演2017

ОРДО САХНА

11/19 Sun.

開場 18:00 | 開演 18:30

赤坂区民センター 区民ホール

（東京都港区赤坂4-18-13 赤坂コミュニティーぷらざ3F）

http://www.akasaka-civiccenter.jp/

TEL: 03-5413-2711　　定員400名

東京メトロ銀座線 青山一丁目 4番出口 徒歩 10分

東京メトロ丸の内線 赤坂見附 A出口 徒歩 10分

駐車場のご用意はありません。公共機関をご利用ください。

Map

11/24 Fri.

開場 18:30 | 開演 19:00

高輪区民センター 区民ホール

（東京都港区高輪1-16-25 高輪コミュニティーぷらざ内）

http://takanawa.foryou.or.jp/news.php?wid=w079

TEL: 03-5421-7616　　定員250名

都営三田線・東京メトロ南北線

白金高輪駅1番出口直結

駐車場のご用意はありません。公共機関をご利用ください。

Map

チケット　自由席　2,000円（要予約）

【お問合せ・お申込み】 オルド サフナ来日公演2017実行委員会

件名を「遊牧民の魂」とし、1.ご希望公演日　2.お名前　3.チケット枚数　4.郵便番号　5.ご住所　6.お電話番号を明記の上、下記メールまたはFAXでお申し込みください。折り返し、送金方法をお知らせします（チケット郵送料82円を別途申し受けます）。

Mail ordo.sakhna2017japan@gmail.com　　FAX 048-771-5092

＊港区民無料招待枠あります。詳細は裏面へ。（無料招待問合せ先：港区地域振興課国際化推進係　TEL 03-3578-2046）

【主催】 在日キルギス共和国大使館　【共催】 オルド サフナ来日公演2017実行委員会

【協力】 港区　Kissポート財団（公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団）　（一財）港区国際交流協会　日本口琴協会　【協賛】 THE CHRISTENSEN FUND

【キルギスの音楽と楽器】

КЫРГЫЗ КӨЧМӨН ДҮЙНӨСҮ

天山山脈とパミール・アライ山脈に沿うように位置する中央アジアの「天空の国」キルギスКыргыз共和国。1991年にソ連より独立。日本の約半分（198,500㎢）の国土に、約600万人が暮らす。首都はビシュケク。国語はキルギス語、公用語はロシア語。

遊牧民であったキルギス人は、平地で遊牧を行うカザフ人やトルクメン人とは異なり、山の麓から頂上までを「垂直方向に」移動し、また狩猟も生活の中で重要な位置を占めていた。厳しい自然のなか、頻繁な移動を伴う遊牧生活では、物はなるべく軽く、小さく、持ち運びやすくする必要がある。このため、楽器も小型である。また、険しい山々によって人々の交流が制限されていたため、音楽は個人や、少人数での楽しみのために演奏されるのが普通であった。それゆえ楽器の奏法は即興的で、音もあまり大きくない。

楽器には、キルギスの国民楽器とも言われる3弦の撥弦楽器コムズをはじめ、2弦の擦弦楽器クル クヤック、口琴オーズ コムズ（鉄製の物をテミル コムズ、木製のものをジガチ オーズ コムズと呼ぶ）、縦笛チョールやチョゴイノ チョール、横笛スブズグ、土笛チョポ チョール、太鼓ドブルバスなどがある。

●オルド サフナ ОРДО САХНА

キルギスを代表する実力派民族楽器ユニット。「オルド サフナ」は「ハン（汗）の舞台」の意。演出家ジャパロフ シャミルЖапаров Шамильにより1999年に結成された。

2005年愛知万博公演・川崎公演以来、2度目の来日。民族音楽の保持、発展、普及活動の傍ら、ソ連時代に録音された古い曲の復元や研究にも力を注いでいる。

CD：「伝説の音楽 Музыка легенд」（2000年）、「遊牧民の歌 Песня кочевника」（2001年）、「火の馬 Огненные лошади」（2007年）

〈来日メンバー〉

ジェティゲン ウール アスカット　Жетиген уулу Аскат（ヴォーカル、コムズ、テミル コムズ）
ソヴェット ウール テミルラン　Совет уулу Темирлан（チョール、チョゴイノ チョール）
オムルガズ ウール ジュルガルベック　Өмүргазы уулу Жыргалбек（コムズ、テミル コムズ）
バルマンバエフ エルラン　Барманбаев Эрлан（スブズグ、チョポ チョール）
アティロフ アイナザル　Атилов Айназар（クル クヤック、テミル コムズ）
マンベタリエワ ティナティン　Мамбеталиева Тинатин（バス クィヤック、テミル コムズ）
アイダラリエフ アカイ　Айдаралиев Акай（ドブルバス）
サグノワ グルザイル　Сагынова Гулзаир（ヴォーカル、コムズ、ジガチ オーズ コムズ）

ジャパロワ チョルポン　Джапарова Чолпон（ディレクター）

●ルスクロワ グルザダ Рыскулова Гулзада

歌手。伝統とオルタナティヴの融合、自然との調和を探求し、古代・現代・民族・ロックなどジャンルを超えた音楽を結びつける。その歌声は、精神性、平和、調和、祖国の英雄、自然の力を語る。
オシュ州教育学院卒業。
コムズ、口琴などの楽器も演奏。

●ママダリエフ カミル Мамадалиев Камил

マナスチ（英雄叙事詩マナスの語り手）。
1981年生れ。タラス国立大学文学部に入学後、在学中から児童センターの教員になる。
2011年から現在に至るまで「マナス・オルド」学校で「マナスを知ろう」講座を担当。
1993年から現在に至るまで、コンクールやフェスティバルでの受賞多数。

【キルギス民族衣装ファッションショー「ハントゥン Хантун」コレクション】

「ハントゥン」とは、「ハン（汗）の妻」の意。キルギスではかつて、階級や年齢、配偶者の有無までが、衣服によって判るようになっていた。2014年にイレシュ グルジャンによって制作された「ハントゥン」コレクションは、19～20世紀の資料を元に民族衣装を復元したものであり、アクセサリー類はアンティークを多用。キルギス人の美意識や、かつての遊牧生活様式をわかりやすく紹介する。

●イレシュ グルジャン　Иреш Гулжан

画家。1970年ジャララバード州生れ。キルギス国立工芸大学経済学部を卒業後、同大学付属民族衣装美術館に勤務。2011年ビシュケクにてオルド サフナと当時オルド サフナのソリストであったリスクロワ グルザダに民族衣装を作り始める。「ハントゥン」民族衣装コレクションで様々な賞を受賞、国内外で高い評価を受けている。
今回のオルド サフナ来日公演の総監督も務める。

11/19のみ

16：00～
ホワイエにて
入場無料

【キルギス民族文化写真展】

撮影：ボルジュロフ エルキンベック
Болжуров Эркинбек

1958年ソクルク州生れ。2003-09年、キルギス大統領専属写真家。キルギス共和国写真家連盟会員、アイトケーエフ記念国立美術館写真ラボ主任。

【手工芸品・特産品販売】
蜂蜜などの物産、出演者のCDなども販売いたします。

19日赤坂のイベントに40名、24日高輪のイベントに25名、港区在住・在勤・在学者を抽選で無料招待します。
はがきに希望する日、名前、住所、電話番号、在勤・在学の方は、会社、学校名及び所在地を明記のうえ、
〒105-8511　港区芝公園1-5-25
港区地域振興課国際化推進係　までお送りください。
締め切り11月8日（水）
（無料招待の問合せ先：03-3578-2046）

■公演内容お問合せ　オルド サフナ来日公演2017実行委員会

代表：ウメトバエワ カリマン　事務局：直川 礼緒（TEL：080-3208-7007）
Mail　ordo.sakhna2017japan@gmail.com　FAX　048-771-5092
Web　http://kyrgyzkomuz.iinaa.net　Facebook　https://www.facebook.com/ordo.sakhna2017japan
送金先：●ゆうちょ銀行　記号10300　番号99005871　オルド　サフナ来日公演2017実行委員会事務局
●みずほ銀行　上尾支店　普通2297219　オルド　サフナ2017事務局　直川　礼緒